様式第2号(概要) (学部学科等の課程)

認定を受けようとする大学の課程の概要

大学名	名桜大学(学部	『学科	等の課程)					
設置者名	公立大学法人名	i 桜大	学					
大学の位置	沖縄県名護市学	产為又	1220番地	<u>1</u> の1				
学部名	学科等名	入学	設置年度	認定を受けようとする 免許状の種類	現在認定	を受けている免許料 (認定	犬の種類(免許 年度)	教科・領域)
子即石	子件等力	定員	以巨十茂	(免許教科・領域)	幼・小	中・高	特支	養教・栄教
国際学群	国際学類	ı	平成19年度			中一種兔 (英語) (令和元年度) 高一種兔 (英語) (令和元年度) 高一種兔 (商業) (令和元年度) 高一種兔 (情報) (令和元年度)		
그 100 오스스 가지	国際文化学科	180	令和5年度	中一種免 (英語) 高一種免 (英語)				
国際学部	国際観光産業学科	160	令和5年度	高一種免 (地理歴史) 高一種免 (商業)				
人間健康学部	スポーツ健康学科	95	平成17年度			中一種免 (保健体育) (令和元年度) 高一種免 (保健体育) (令和元年度)		養教一種免 (令和元年度)
	健康情報学科	80	令和5年度	高一種免 (情報)				
入学定	員合計	515						
	 国際学部国際文 	化学科	は、国際学群を	と改組し、新たな学	科として	令和5年度に	こ向けて、	現在、届

・国際学部国際文化学科は、国際学群を改組し、新たな学科として令和5年度に向けて、現在、届出設置予定である。

・国際学部国際観光産業学科は、国際学群を改組し、新たな学科として令和5年度に向けて、現在、届出設置予定である。

備考

- ・人間健康学部健康情報学科は、国際学群を改組し、既存の人間健康学部に新たな学科として令和5年度に向けて、現在、届出設置予定である。
- ・国際学群・国際学類の中一種免(英語)・高一種免(英語)、高一種免(商業)、高一種免(情報)は、令和4年度末をもって取下げる。

様式第2号(中・教科及び教科の指導法に関する科目)

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織(中・教科及び教科の指導法に関する科目)

認定を受け ようとする 学部・学科 等		祭学	国際文化学科	入学定員 180	1. 免許状題 教科					:数 6科目 28単	 位			3. 学位又は学科の分野 国際文化学	
認定を受け		施行規	L 見則に定める科目区分等	力	E記に対応す	る開詞		科目			-1-1-	- Lu 🗖	士(国際文化学) 国際文化学 備考		
ようとする免許状の種類(会許券	— 科	目	各科目に含めることが	松光	単位	立数	共通 開設			専任	:教員		備考		
類(免許教科)	区	分	必要な事項	(文) 	科目	必修	選択	学校 種等	学科 等	教授	准教授	講師	助教		
中一種免				英語音声学				高 (英語)	同						
(英語) 教 科		教	'' ⇒±' ሥ.\	英文法		<u>2</u>		高 (英語)	同	渡慶次正則					
		科	英語学	言語学概論	言語学概論 I		2	高 (英語)	同						
	及	に		英語学概論	A H		2	高 (英語)	同						
	び	関	英語文学	イギリス文	<u> </u>	<u>2</u>		高 (英語)	同		メーカ゛ン・クックルマン				
	教科	す	天阳久于	アメリカ文	学	<u>2</u>		高 (英語)	同		(メーカ゛ン・クックルマン)				
		る		高等英語オーラン	/ • コミュニケーション	<u>2</u>		高 (英語)	同	ノーマン・フィーウェル					
	(D)	専	英語コミュニケーショ	高等英作文	<u>-</u>	<u>2</u>		高 (英語)	同		(メーカ゛ン・クックルマン)				
	指導	門		高等英語講	読		2	高 (英語)	同		半嶺まどか				
	法	的		高等英語り	スニング		2	高 (英語)	司	(渡慶次正則)					
	に	事		英米文化概	t論 I_	<u>2</u>		高 (英語)	同	(ノーマン・フィーウェル)					
	関	項	異文化理解	英米文化概	<u>ŧ論Ⅱ</u>	<u>2</u>		高 (英語)	同	(ノーマン・フィーウェル)					
	す			異文化コミュミ	ニケーション論		2	高 (英語)	同		(半嶺まどか)				
	3 #I	関、	科及び教科の指導法に する科目における複数												
	科目		事項を合わせた内容に る科目												
			教科の指導法(情報通	英語科教育	ī法 I	4			他					全学共通科目	
		信	技術の活用を含む。) 	英語科教育	テ法Ⅱ	4			他					全学共通科目	
●単位数	Α.	教員	の免許状取得のための関	開設総単位数				34単位		●専任教員	数(教科は	二関する専 門	明的事項)	4人	
	В.	(他	開設単位数 上学科等の科目をあてる場		を含む。)			8単位		●必要専任教	教員数(教 和	トに関する専	門的事項)	3人	
	C.		の免許状取得のための必 択必修科目の単位数を含	めの必修科目				28単位							
	D. 教員の免許状取得のための選択科目							6単位							

様式第2号(高・教科及び教科の指導法に関する科目)

認定	をう	受け	ようとする学部	学科等6	の教育課	呈及	び教	数 員組織	我 (i	高・教科	及び教	科の指導	尊法に関	する科目)
認定を受け ようとする	国際	学	ロコロケマー・ノレ・ンとイン	入学定員	1. 免許状耳	2得に	必要力	な最低修得	単位数	 数		2. 学 位	Ĺ	3. 学位又は学科の分野
学部·学科 等	立		国際文化学科	180	教科	及び	教科の)指導法に	関する	5科目 24単	位	学 士 (国際文化学)		国際文化学
認定を受け	旅	近行規	則に定める科目区分等	7	生記に対応す	る開診	2授業	科目			まり	· +/4.12		
ようとする 免許状の種 類 (免款数	科	目	各科目に含めることが	授業科目		単位数		共通 開設			导仕	·教員		備考
類(免許教 科) 	区		必要な事項	授 兼	E个计 日	必修	選択	学校 種等	学科 等	教授	准教授	講師	助教	
高一種免				英語音声学	<u> </u>	<u>2</u>		中 (英語)	同					※選択科目から4単位修得すること。
(英語)	教	教	英語学	英文法		2		中 (英語)	同	渡慶次正則				
	科	科	大阳子	言語学概論	ìI		2	中 (英語)	同					
	及	に		英語学概論	Ĥ		2	中 (英語)	同					
	び	関	英語文学	<u>イギリス文</u>	学	<u>2</u>		中 (英語)	同		メーカ゛ン・クックルマン			
	教	す	人而入于	アメリカ文	学	<u>2</u>		中 (英語)	同		(メーカ゛ン・クックルマン)			
	科	る		高等英語オーラン	V • コミュニケーション	<u>2</u>		中 (英語)	同	ノーマン・フィーウェル				
	の 指	専	英語コミュニケーショ	高等英作文	<u>.</u>	<u>2</u>		中 (英語)	同		(メーカ゛ン・クックルマン)			
	導	門		高等英語講	請		2	中 (英語)	同		半嶺まどか			
	法	的		高等英語リ	スニング		2	中 (英語)	同	(渡慶次正則)				
	に	事		英米文化概	E論 I	<u>2</u>		中 (英語)	同	(ノーマン・フィーウェル)				
	関	項	異文化理解	英米文化概	抵論Ⅱ_	<u>2</u>		中 (英語)	同	(ノーマン・フィーウェル)				
	す	let a		異文化コミュニ	ニケーション論		2	中 (英語)	同		(半嶺まどか)			
	る ゴ	関~	科及び教科の指導法に する科目における複数											
	科目		事項を合わせた内容に る科目											
			以付り1日等伝 (用報題	英語科教育	F法 I	4			他					全学共通科目
		信打	支術の活用を含む。)	英語科教育	「法Ⅱ	4			他					全学共通科目
●単位数			の免許状取得のための関	開設総単位数				34単位		●専任教員	数(教科に	科に関する専門的事項) 4人		
	В.	(他	開設単位数 学科等の科目をあてる場		を含む。)			8単位		●必要専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人				3人
	C.	教員 (選	の免許状取得のための必 択必修科目の単位数を含	必修科目 含む。)				28単位						
	D.	教員	の免許状取得のための過	選択科目				6 単位		(合計) には「各				。)」の専任教員は含めないこと。

様式第2号(高・教科及び教科の指導法に関する科目)

認定を	受け	よ	うとする学部学	科等の教育課程	及て	が教	員組織	哉 (高・教	科及び	教科の打	省導法に	こ関する科目)
認定を受けよ	 一 	<u> </u>	三吸知 小 大 光 凸 小	入学定員 1.	免許場	犬取得	身に必要7	よ最低	氐修得単位	数	2. 学 有		3. 学位又は学科の分野
うとする学 部・学科等	国際	字部	国際観光産業学科	160 教	科及で	が教科	の指導液	生に関	関する科目	24単位	学 士 (国際	観光産業学)	国際観光産業学
認定を受けよ	施	行規則	則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目						+ 14	- 		
うとする免許状の種類(免	—— 科	目	各科目に含めること		単位	立数	共通 開設		· 專任教員			備考	
許教科)	区		が必要な事項	授業科目		選択	兴长	学校 学科 種等 等		教授 准教授		助教	
高一種免				日本の歴史I	2								※選択科目から8単位修得すること。
(地理歴史)	教 日本史		日本史	日本の歴史Ⅱ	<u>2</u>								
	教科	科		日本史史料講読		2							
	及	に		世界史概論	2								
	び	関	外国史	世界の歴史		2							
	教	す		西欧経済史		2				宮城敏郎			
	科	る		人文地理学	2			他		卯田卓矢			全学共通科目
	<i>Ø</i>	専	序 人文地理学・自然地	観光地理学		2				(卯田卓矢)			
	指導	門	理学	自然地理学概論	<u>2</u>								
	法	的		地球の環境とその保全		2			新垣裕治				
	に	事		<u>地誌学</u>	2					(卯田卓矢)			-
	関	項	地誌	沖縄の天然記念物		2							
	す			島嶼環境論		2			田代豊				
	る		斗及び教科の指導法に する科目における複数										-
	科目	の事	事項を合わせた内容にる科目										
	Ħ		347 ロ 数科の指導法(情報通	地理歴史科教育法 I	2			他	△寺本潔				全学共通科目 令和6年4月採用予定
			土佐の江田た今よ。)	地理歴史科教育法Ⅱ	2			他					全学共通科目
●単位数	Α.	教員	の免許状取得のための	開設総単位数		•	30単位		●専任教員	数(教科に	関する専門]的事項)	4人
	В.		開設単位数 学科等の科目をあてる	場合の単位数を含む。)			6単位		●必要専任	教員数 (教科	4に関する専	門的事項)	3人
	C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む。)						24単位						
	D.		の免許状取得のための				6単位						

様式第2号(高・教科及び教科の指導法に関する科目)

認定を	受け	よう	うとする学部学	科等の教育課	程及	支て	ド教	員組絹	哉 (高・教	科及び	教科の技	指導法に	に関する科目)			
認定を受けよ	元 网	ᢣᡮᠬ	宜 廢知火 <u>卒类</u> 兴到	入学定員	1. 免	許少	犬取得	に必要が	な最低	氐修得単位:	数	2. 学 化		3. 学位又は学科の分野			
うとする学 部・学科等	国際	子前	国際観光産業学科	160	教科	及び	が教科	の指導液	よに関	引する科目	24単位	学 士(国際	観光産業学)	国際観光産業学			
認定を受けよ	施	行規則	川に定める科目区分等	左記に対応	ふする	開設	授業	科目			古げ	· +/4 🖂					
うとする免許状の種類(免	科					単位	立数	共通 開設			専任教員						
許教科)		分	が必要な事項	授業科目		必修	選択	学校 種等	学科	教授	准教授	講師	助教				
高一種免				経営学総論		<u>2</u>				林優子				※選択科目から4単位修得す ること。			
(商業)	-Lv.1	教		<u>簿記原理</u>		<u>4</u>				仲尾次(比嘉)洋子							
	教	科		上級簿記			$\mid 4 \mid$										
	科	に		ミクロ経済学			2			宮平栄治							
	及			マクロ経済学			2			(宮平栄治)							
	T,	関		マーケティング論		<u>2</u>					草野泰宏						
	教	す	商業関係科目	流通論		<u>2</u>				(林優子)							
	科の	る		会社法			2										
	の 指	専		会計学原理			2			(仲尾次(比嘉)洋子)							
	11 導	門		原価計算			2										
	等法			経済政策			2			(宮平栄治)							
	伝に	的		観光学概論		2					伊良皆啓						
	関	事		観光事業論			2			大谷健太郎							
	大	項	- 京 - 14 - 14 - 14 - 14 - 14 - 14 - 14 -	職業指導I		2				(林優子)							
	<i>う</i> る		職業指導	職業指導Ⅱ		<u>2</u>				(林優子)							
	科		料及び教科の指導法に ける科目における複数														
		の事	事項を合わせた内容に る科目														
		各拳	数科の指導法(情報通	商業科教育法 I		2			他					全学共通科目			
		信持	技術の活用を含む。)	商業科教育法Ⅱ		2			他					全学共通科目			
●単位数			の免許状取得のための	開設総単位数				38単位		●専任教員	数(教科に	関する専門	引的事項)	6人			
	В.		開設単位数 学科等の科目をあてる	場合の単位数を含む	[]。)			4単位		●必要専任	教員数(教科	4に関する専	門的事項)	4人			
	C. 教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む。)						D必修科目 24 H 位										
	D.		の免許状取得のための					14単位									

▼ ※専任教員数(合計)には「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」の専任教員は含めないこと。

様式第2号(高・教科及び教科の指導法に関する科目)

認定を受	受け	よう	うとする学部学	科等の教育課程	及て	が教」	員組約	能	(高・教	科及び	教科の	指導法は	に関する科目)
認定を受けよ うとする学	人間健	事 学	健康情報学科	入学定員 1.	免許	犬取得	界に必要	な最	低修得单位	Z数	2. 学 化	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	3. 学位又は学科の分野
部・学科等) (In let	MC 1 Hb	是水田 #X 丁 / T	80 教	科及で	が教科 しんしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	の指導液	法に	関する科目	24単位	学 士(健	康情報学)	健康情報学
認定を受けよ		行規則	川に定める科目区分等 -	左記に対応する	ろ開設	授業				専仟	·教員		
うとする免許 状の種類(免 許教科)	科		各科目に含めること	授業科目	単位	立数	共道 開意	τ X		T	1	T	備考
计软件/	区	刀 ——	が必要な事項		必修	選択	学校 種等	学科等	教授	准教授	講師	助教	
高一種免			 情報社会・情報倫理	情報科学と社会	2			他	佐久本功達				全学共通科目
(情報)	教	教		情報化社会論	<u>2</u>				中里収				
	科	科		<u>プログラミング基礎</u>	2				(中里収)				
	件		コンピュータ・情報	コンピュータ概論	$\frac{2}{2}$				天願健 				
	及	に	処理(実習を含 む。)	アルゴリズム論	$\frac{2}{2}$				(佐久本功達)				
	び	関		情報処理論	$\frac{2}{2}$				(天願健)				
	教	DQ		<u>プ゚ログラミング応用</u> データベース基礎	2				(工商税)				_
	科	す	情報システム (実習 を含む。)	データベース演習	2	2			(天願健)				
	\mathcal{O}	る		経営情報論		$\begin{bmatrix} 2 \\ 2 \end{bmatrix}$			田邊勝義				
		· 3		システム設計論	<u>2</u>				(田邊勝義)				
	指	専		国際ネットワーク論	+				鈴木大作				
	導	BB.	(株和文 仁 之) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ネットワークの構築と運用	-					アラスーン. ピーターM			
	法	門		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2			(鈴木大作)				
	に	的		ネットワーク技術 II		2			(鈴木大作)				
	関		マルチメディア表	コンヒ゜ュータ・ク゛ラフィックス	<u>2</u>					(アラスーン.ピーターM)			-
		事	田コンモノゴンマ	ウェブデザイン		2			(佐久本功達)				
	す	項	1+0	プログラミング応用演習		4							
	る			情報と職業	<u>2</u>				(田邊勝義)				
	科	関	斗及び教科の指導法に する科目における複数										
	目		事項を合わせた内容に る科目										
			数科の指導法(情報通	情報科教育法I	2			他					全学共通科目
		16:1	支術の活用を含む。) 	情報科教育法Ⅱ	2			他					全学共通科目
●単位数	A.	教員	の免許状取得のための	開設総単位数			44単位		●専任教員	数(教科に	関する専門	月的事項)	6人
	В.		開設単位数 学科等の科目をあてる	場合の単位数を含む。		6単位		●必要専任教員数(教科に関する専門的事項) 4人					
C. 教員の免許状取得のための 選択必修科目の単位数を						30単位							
	D.	教員	の免許状取得のための	選択科目			14単位	位					

※専任教員数(合計)には「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」の専任教員は含めないこと。

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織(中一種免(英語)・大学が独自に設定する科目) 入学定員 1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 2. 学 位 3. 学位又は学科の分野 認定を受けようとする 国際学部 国際文化学科 学部 • 学科等 大学が独自に設定する科目 4単位 学士(国際文化学) 180 国際文化学 左記に対応する開設授業科目 認定を受けよ 免許法施行規則に定める うとする免許 単位数 備考 科目区分 授業科目 状の種類 必修 選択 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した 中一種免 教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学 習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」 (英語) について、併せて3単位以上を修得 介護等体験 大学が独自に設定する科目 ・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位 ●単位数 1単位 数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目 0単位 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている 12単位 単位数の合計

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織(高一種免(英語)・大学が独自に設定する科目) 入学定員 1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 2. 学 位 3. 学位又は学科の分野 認定を受けようとする 国際学部 国際文化学科 学部 • 学科等 大学が独自に設定する科目 12単位 学士(国際文化学) 180 国際文化学 左記に対応する開設授業科目 認定を受けよ 免許法施行規則に定める うとする免許 単位数 備考 科目区分 授業科目 状の種類 必修 選択 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した 高一種免 教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学 習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」 (英語) について、併せて12単位以上を修得 介護等体験 大学が独自に設定する科目 ・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位 ●単位数 0単位 数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目 1単位 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている 16単位 単位数の合計

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織(高一種免(地理歴史)・大学が独自に設定する科目) 入学定員 1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 2. 学 位 3. 学位又は学科の分野 認定を受けようとする 国際学部 国際観光産業学科 学部 • 学科等 大学が独自に設定する科目 12単位 160 学士(国際観光産業学) 国際観光産業学 左記に対応する開設授業科目 認定を受けよ 免許法施行規則に定める うとする免許 単位数 備考 科目区分 授業科目 状の種類 必修 選択 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した 高一種免 教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学 習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」 (地理歷史) について、併せて12単位以上を修得 介護等体験 大学が独自に設定する科目 ・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位 ●単位数 0単位 数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目 1単位 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている 12単位 単位数の合計

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織(高一種免(商業)・大学が独自に設定する科目) 入学定員 1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 2. 学 位 3. 学位又は学科の分野 認定を受けようとする 国際学部 国際観光産業学科 学部 • 学科等 大学が独自に設定する科目 12単位 160 学士(国際観光産業学) 国際観光産業学 左記に対応する開設授業科目 認定を受けよ 免許法施行規則に定める うとする免許 単位数 備考 科目区分 授業科目 状の種類 必修 選択 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した 高一種免 教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学 習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」 (商業) について、併せて12単位以上を修得 介護等体験 大学が独自に設定する科目 ・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位 ●単位数 0単位 数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目 1単位 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている 20単位 単位数の合計

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教員組織(高一種免(情報)・大学が独自に設定する科目) 入学定員 1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 2. 学 位 3. 学位又は学科の分野 認定を受けようとする 人間健康学部 健康情報学科 学部 • 学科等 大学が独自に設定する科目 12単位 学士 (健康情報学) 80 健康情報学 左記に対応する開設授業科目 認定を受けよ 免許法施行規則に定める うとする免許 単位数 備考 科目区分 授業科目 状の種類 必修 選択 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した 高一種免 教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学 習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」 (情報) について、併せて12単位以上を修得 介護等体験 大学が独自に設定する科目 ・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位 ●単位数 0単位 数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目 1単位 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている 26単位 単位数の合計

様式第2号(第66条の6に定める科目)

		教育	「職員免許法 」	拖行規則第 (6 6	条	の 6	6に定める科目				
			国際文化学科	入学定員		学	位		学位又は学科の分野			
認定を受けようとする 学部・学科等	国際学部		国際観光産業学科	420		学学	士 士	(国際文化学) (国際観光産業学)	国際文化学 国際観光産業学			
	人間健康学部		健康情報学科	130		学	士	(健康情報学)	健康情報学			
			左記に対応	する開設授業科目								
免許法施行規則に定 科目区分	じめる	単位数	授業和	8l. 🖯	単位	拉数		備考				
			7又未作	イロ	必修	選択						
日本国憲法		2	憲法		2							
体育		0	体育実技 I									
14 月		2	体育実技Ⅱ		1							
外国語コミュニケーシ	ンョン	2	ベーシック・イン	ノグリッシュ	2							
			イングリッシュ・コ	ミュニケーション	2							
数理、データ活用及び人工 する科目又は情報機器		2	コンピュータ・リ	リテラシー	2							

		中高・教育の基礎的理解に はようとする学部学科			<u></u> 分昌	<u> </u>		/山高。	数音の	其磁的 理	解に関	する科目等)
PIC AL Y	<u> </u>	() A / C) O T HIT /		文化学科	入学定員					:低修得単位		受けようとする免許状の種類 (英語)
認定を受けよする学部・学		国際学部	国際	観光産業学科	42	教育の基礎的理解に関する科目等 〇中一種免 27単位 〇高一種免 23単位 高一種免許(地理別 高一種免(商業)						許(地理歴史)
		人間健康学部	健康	青報学科							高一種免	(情報)
		施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開記			117 /玄		歯に	E E 教員		
開設体制	科目	各科目に含めることが 必要な事項	単位数	授業科目	単心	位数 選	開設学等	教授	准教授	講師	助教	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想)	教育原理	2		養	嘉納英明				
大学において 共通開設	対		Š	教職概論	2		養	(嘉納英明)				
共通開設する 学科等の入学 定員の合計 (今回申請す	基 一 数育に関する社会 は経営的事項(学 連携及び学校安全 む。)	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)		教育制度論	2		養	(嘉納英明)				
も含む。)	パに関す	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程		教育心理学	2		養	木村堅一				
	る科	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	2		養					
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)		教育課程論	2		養	板山勝樹				
	道徳	道徳の理論及び指導法		道徳教育の理論と方法	2		養					中免のみ
	総	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の打 導法	$\frac{1}{2}$		養					
	合的な	特別活動の指導法		特別活動の指導法	2		養	(板山勝樹)				
	教育相談等は学習の時間	教育の方法及び技術		教育方法(ICTの活用を 含む。)	2		養	(嘉納英明)				※「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」を含む。
	寺に関って	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	中10 高8									
	する科目	生徒指導の理論及び方法		生徒指導の理論及び方法	去 2		養	(板山勝樹)				
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法		教育相談	2		養					
	指導、	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法	!	進路指導論	2			(板山勝樹)				
		教育実習	中5 高3	中学校教育実習事前指導 高等学校教育実習事前指 中学校教育実習	<u> </u>			(板山勝樹) (板山勝樹) (板山勝樹)				中免のみ。事後指導含む。 高免のみ。事後指導含む。 中免のみ。
				高等学校教育実習	2			(板山勝樹)				高免のみ。
		学校体験活動						//				4
●単位数		教職実践演習 員の免許状取得のための必修科 択必修科目の単位数を含む)	目	教職実践演習(中・高) 中一種:33単位 高一種:29単位	2		●専作	(板山勝樹) 任教員数(教	で育の基礎的	 ク理解に関す	る科目等)	3人
・教員の免許状取得のための選択科目 0 0 0 0 0 0 0 0			0単位(中一種【英語】 0単位(高一種【英語】 0単位(高一種【地理歴 0単位(高一種【商業】 0単位(高一種【情報】) 史】))			任教員数(名 要専任教員		·導法)			

※専任教員欄の網掛けは消去しないこと。